

「行政とボランティアによる連携ワークショップ（仮称）」企画（案）

◆ 目的と狙い

災害時の被災者支援活動やボランティアに知識がない担当者等に対して、どのように平時から交流や相互理解を図る機会を設けることが有効かを検討する機会とする。過去の災害時で行政とボランティアが連携・協働した事例等を活用しながら、広域災害を想定し、災害時に対応することが予想される行政職員（都道府県・政令市・市町村職員）とボランティア関係者が顔を合わせ、課題について話し合うワークショップを実施する。

◆ 実施概要（案）

主催：内閣府（防災担当）

日時：未定（3時間程度での開催を予定）

開催地：福岡市（調整中）

※アドバイザー、ファシリテーター（有識者2名程度）

◆ 参加対象者（全体で30～40人程度）

- 行政のボランティア、防災等の関係部局職員
- 地域のボランティア関係者
- 地域の社会福祉協議会職員
- 地域外のボランティア関係者

◆ 内容

簡易訓練型での実施を検討中。

- 新聞報道（仮想）状況付与をもとに3者連携による対応方策の策定訓練
 - ① 現状分析
 - ② 今後の想定事態・課題
 - ③ 目標の設定
 - ④ 対応方針
 - ⑤ 組織間の連携内容